

■令和6事業年度における評価結果一覧

(1) 全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

(2) 項目別評価

		評価		数値目標（定量評価）	
		法人	知事	目 標	実 績
			A		
大項目1 府民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項					
第1 府民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置					
1 技術支援の実施及び知見の提供等					
小項目1 事業者に対する支援		IV	IV		
細目1	① 事業者に対する技術支援	IV		定性	
2	a 今年度の主要な取組	V			1 受託研究の実施件数：22件以上
3	b 受託研究の実施【数値目標1】	V			2 受託研究利用者の総合評価の平均値：3以上（4段階評価）
4	【数値目標2】	III		定性	
5	c 製品化・商品化やそのPRに係る支援	III		定性	
6	d 事業者団体等への支援	III			3 事業者からの技術相談対応件数：520件以上
7	e 技術相談への対応等【数値目標3】	IV		定性	540件（達成率104%）
	f その他の技術支援 試験機器・施設の提供ならびに依頼試験・簡易受託研究の実施				
2 事業者に対する知見の提供		IV	IV		
8	② 事業者に対する知見の提供	III		定性	
9	事業者に対する知見の提供【数値目標4】	IV			4 事業者への情報発信回数：850回以上
3 行政への技術支援・行政への知見の提供		III	III		
10	① 行政への技術支援	IV			5 行政依頼事項に係る調査研究課題に対する大阪府からの総合評価の平均値：3以上（4段階評価）
11	a 行政依頼事項に係る調査研究【数値目標5】	III		定性	
12	② b その他の技術支援 i 技術相談・現地技術指導への対応等	III		定性	
13	ii 依頼検体等の分析	III		定性	
14	iii 気候変動適応への支援	III		定性	
15	iv 森林整備への支援	III		定性	
16	v ブルーカーボンに関する支援	III		定性	
17	VI 生物多様性地域戦略への支援	III		定性	
18	VII 全国豊かな海づくり大会への支援	III		定性	
19	VIII 上記以外に大阪府等が必要とする技術支援	III		定性	
20	IX 広域的な技術課題	III		定性	
③ 行政への知見の提供					
4 緊急時への対応と備え		IV	IV		
21	③緊急時への対応と備え	V		定性	
22	a 環境保全分野への対応	III			
23	b 農林・野生動物分野への対応	IV		定性	
c 水産・水生生物分野への対応					
5 農業大学校の運営を通じた多様な担い手の育成		IV	IV		
24	④ 農業大学校の運営を通じた多様な担い手の育成（重点5）	IV		定性	
25	a 養成科の運営	V			6 農業大学校養成科卒業生のうち就農就職希望の農業関係就職率を中期目標期間中の平均で95%以上
26	【数値目標6】	III		定性	17名(100%)
27	b 短期プロ農家養成研修の運営	IV		定性	
c 力強い大阪農業を支える農業人材育成手法の再編・リニューアル					
6 地域社会への貢献		III	III		
28	① 地域社会に対する支援	III		定性	
29	a 環境及び生物多様性の保全に係る連携と取組支援	III		定性	
30	b 農の持つ魅力を幅広い場で展開するハートフル農業取組への支援	III		定性	
31	c その他の研究所が有する資源の活用	IV		定性	
	i 講師派遣、視察見学・研修の受入	III			7 地域社会への貢献活動の実施件数：70件以上
	ii 研究所が有する技術・機材・施設等の資源の活用	III			72件（達成率103%）
32	【数値目標7】	IV		定性	
33	② 府民への広報活動	III			8 報道資料の提供件数：45件以上
34	【数値目標8】				42件（達成率93%）

大項目2 調査研究の効果的な推進				A						
第1 府民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置										
2 調査研究の効果的な推進										
小項目7 技術ニーズの把握と知見の集積、協働の推進				Ⅲ	Ⅲ					
細目35	① 多様な情報の収集と知見の集積			Ⅲ		定性				
36	② 他の研究機関等との協働			Ⅲ		定性				
37	③ 農林水産業振興のための協働			Ⅲ		定性				
8 調査研究の推進				Ⅲ	Ⅲ					
38	①調査研究の推進			Ⅲ		定性				
a 重点テーマ										
（重点1）カーボンニュートラル社会への貢献と気候変動適応										
39	（重点2）ネイチャーポジティブ社会の実現に向けた取組						Ⅲ	定性		
40	（重点3）健康・安心で持続可能な暮らしのための環境の確保						Ⅳ	定性		
41	（重点4）成長し持続する大阪農業の実現						Ⅲ	定性		
42	（重点5）力強い大阪農業を支える多様な担い手の育成に向けた農大改革						Ⅳ	定性		
43	（重点6）豊かな大阪湾の保全・再生と恵みの持続的な利用						Ⅲ	定性		
44	（重点7）いのちをつむぐ魅力ある食の創造						Ⅲ	定性		
45	（重点8）未来社会のいのちをつなぐ昆虫機能の利用						Ⅲ	定性		
46	b 基盤テーマ			Ⅲ		定性				
9 調査研究資金の確保・調査研究の評価				Ⅲ	Ⅲ					
47	② 調査研究資金の確保			Ⅳ		定性				
a 外部資金の募集情報の収集と申請書の推敲及び応募者の実績確保の支援										
48	【数値目標9】						Ⅲ	9	競争的外部研究資金による調査研究課題の実施及び応募件数：80件以上	実施件数47件＋新たに応募した件数35件＝82件（達成率103%）
49	b 調査研究課題への外部有識者からの指導・助言						Ⅲ	定性		
50	c 他の研究機関とのネットワーク構築			Ⅲ		定性				
51	③ 調査研究の評価【数値目標10】			Ⅳ		10	競争的外部研究資金による調査研究課題に対する外部有識者からの総合評価（中間・事後）の平均値：3以上（4段階評価）	中間評価3件＋事後評価3件の総合評価の平均値3.4		
10 調査研究成果の利活用				Ⅳ	Ⅳ					
52	① 調査研究成果の普及			Ⅳ		定性				
53	【数値目標11】			Ⅳ			11	学術論文や学会等での発表の件数：120件以上	学術論文26件＋学会等での発表127件＝153件（達成率128%）	
54	【数値目標12】			Ⅲ			12	セミナー、展示会、体験会等のイベント主催・共催回数：80回以上	80回（達成率100%）	
55	【数値目標13】			Ⅴ			13	外部からの講演・講義依頼の受諾件数：90件以上	122件（達成率136%）	
56	② 知的財産権の取得・活用			Ⅲ				定性		
大項目3 業務運営、組織運営、財務内容などの改善と効率化				A						
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置										
小項目11 自律的な組織・業務運営				Ⅳ	Ⅳ					
細目57	（1）自律的な組織・業務運営			Ⅳ		定性				
12 人材の確保				Ⅲ			Ⅲ			
58	①人材の確保			Ⅲ			定性			
13 職員の育成				Ⅲ	Ⅲ					
59	②職員の育成 a 研修の実施等			Ⅲ		定性				
60	b 人事評価制度の運用・職員へのインセンティブの付与			Ⅲ			定性			
61	c 職場環境の整備			Ⅲ			定性			
14 業務の効率化				Ⅲ	Ⅲ					
62	2 業務の効率化			Ⅲ		定性				
15 施設及び設備機器の整備				Ⅲ			Ⅲ			
63	3 施設及び設備機器の整備			Ⅲ		定性				
第3 財務内容の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置										
16 財務内容の改善に関する事項				Ⅲ	Ⅲ					
64	第3 財務内容の改善に関する事項			Ⅲ		定性				
第4 予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画										
第5 短期借入金の限度額										
第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画										
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画										
第8 剰余金の使途										
第9 その他業務運営に関する事項										
17 コンプライアンス法令の徹底・労働安全衛生管理・環境に配慮した業務運営				Ⅲ	Ⅲ					
65	1 コンプライアンスの徹底			Ⅲ		定性				
66	2 労働安全衛生管理			Ⅲ			定性			
67	3 環境に配慮した業務運営			Ⅲ			定性			